

大学番号：私399

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

京都薬科大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 京都薬科大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務局 企画・広報課

職名・氏名 カカリ チョウ 係長 ・ カワカツ アキヒロ 川勝 章広

電話番号 075-595-4691

（夜間） 075-595-4691

F A X 075-595-4750

e-mail kawakatu@mb.kyoto-phu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況，経費	8
4	既設大学等の状況	9
5	教員組織の状況	10
6	留意事項に対する履行状況等	15
7	その他全般的事項	16

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 京 都 薬 科 大 学

(2) 大学名

京 都 薬 科 大 学

(3) 大学の位置

〒607-8414
京都府京都市山科区御陵中内町5

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タムラ マサアキ) 田村 正昭 (平成20年5月)	(タケダ レイジ) 武田 禮二 (平成23年5月)	任期満了に伴う退任のため 平成23年5月30日 (24)
学 長	(イヌイ ケンイチ) 乾 賢一 (平成22年4月)		
研究科長	(タケウチ コウジ) 竹内 孝治 (平成22年4月)		
学科長等	—		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 薬学専攻博士課程 (博士: 薬学)	4年	10人	40人	基礎となる学部等 薬学部薬学科(6年制)

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	10人 10 (-) [-]	-人 (-) [-]	1.00倍	
志願者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	11 (1) [1]	- (-) [-]		
受験者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	11 (1) [1]	- (-) [-]		
合格者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	11 (1) [1]	- (-) [-]		
B 入学者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	10 (1) [1]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	-		-		1.00			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[1] 10	[-] -	
2年次	/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次	/		/		[-] -	[-] -	
計	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[1] 10	[-] -	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	- 人	- 人	平成21年度	- 人	- 人		-
			平成22年度	- 人	- 人		
			平成23年度	- 人	- 人		
			平成24年度	- 人	- 人		
平成22年度 入学者	- 人	- 人	平成22年度	- 人	- 人		-
			平成23年度	- 人	- 人		
			平成24年度	- 人	- 人		
平成23年度 入学者	- 人	- 人	平成23年度	- 人	- 人		-
			平成24年度	- 人	- 人		
平成24年度 入学者	10 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
合 計	10 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<薬学研究科薬学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	薬化学特論	1~4前		1								兼3 兼2 オムバス、隔年開講、集中 担当分担任により、教員を追加(24) 担当 河井 伸之(助教)…兼担 兼2 オムバス、隔年開講、集中
	薬品化学特論	1~4前		1								兼2 オムバス、隔年開講、集中
	薬品製造学特論	1~4前		1		1		1	1			オムバス、隔年開講、集中 新規採用により、教員を追加(24) 担当 小島 直人(講師)
	代謝分析学特論	1~4前		1		1		1				オムバス、隔年開講、集中
	薬品分析学特論	1~4前		1		1		1				オムバス、隔年開講、集中
	生物物理化学特論	1~4前		1								兼3 オムバス、隔年開講、集中
	生薬学特論	1~4前		1								兼3 オムバス、隔年開講、集中
	公衆衛生学特論	1~4前		1								兼2 オムバス、隔年開講、集中
	衛生化学特論	1~4前		1		1				2		オムバス、隔年開講、集中
	生化学特論	1~4前		1				1		1		オムバス、隔年開講、集中
	感染制御学特論	1~4前		1		1		1		1		オムバス、隔年開講、集中 兼任(退職)により、担当教員を削除(24) 担当 奥田 潤(准教授)
	臨床薬学特論	1~4前		1		1			1			オムバス、隔年開講、集中
	薬物治療学特論	1~4前		1		1		1		1		オムバス、隔年開講、集中
	病態生化学特論	1~4前		1		1			1			オムバス、隔年開講、集中
	病態生理学特論	1~4前		1		1		1		1		オムバス、隔年開講、集中 新規採用により、教員を追加(24) 担当 芦原 英司(教授)
	薬理学特論	1~4前		1		1		1		1		オムバス、隔年開講、集中 新規採用により、教員を追加(24) 担当 大矢 進(教授)
	臨床薬物動態学特論	1~4前		1		1			1			オムバス、隔年開講、集中 担当分担任により、教員を追加(24) 担当 伊藤 由佳子(講師)
	薬剤学特論	1~4前		1		1		1				オムバス、隔年開講、集中
細胞生物学特論	1~4前		1		1				1		オムバス、隔年開講、集中 大学院教育充実のため科目追加(24) 担当 藤室 雅弘(教授) 担当 賀川 裕貴(助教)	

「がん薬物療法を専門とする薬学研究者養成コース履修者については、自由科目(1単位)とする。」

専 門 科 目	臨床医科学特論Ⅰ	1~4前	1		1	1				オムバス、隔年開講、集中 科目名変更(24)	「がん薬物療法を専門とする薬学研究者養成コース」履修者については、 必修科目(1単位)とする。
	臨床腫瘍学特論 臨床医科学特論Ⅱ	1~4前	1		1					オムバス、隔年開講、集中 科目名変更(24)	
	医薬品評価科学特論	1~4前	1		1			1		オムバス、隔年開講、集中 新規採用により、教員を追加(24) 担当 本橋 秀之(講師)	
	創薬腫瘍科学特論	1~4前	1		1					兼3 オムバス、隔年開講、集中 「がん薬物療法を専門とする薬学 研究者養成コース」設置のため 科目追加(24) 担当 山下 正行(教授)	
	腫瘍細胞生物学特論	1~4前	1		1				1	オムバス、隔年開講、集中 「がん薬物療法を専門とする薬学 研究者養成コース」設置のため 科目追加(24) 担当 藤室 雅弘(教授) 担当 賀川 裕貴(助教)	
	腫瘍薬剤学特論	1~4前	1		1			1		兼1 オムバス、隔年開講、集中 「がん薬物療法を専門とする薬学 研究者養成コース」設置のため 科目追加(24) 担当 矢野 義孝(教授) 担当 本橋 秀之(講師)	
25 小計(21科目)	-	0	25 21	0	19 13	6 7	8 4	10 8	-		
総合薬学セミナー	1~4通	2			16 13	6 7	7 5	12 11		兼13	
薬学研究演習	1~4通	4			16 16	6 7				兼7	
課題研究	1~4通	20			13 13	7 7				兼7	
小計(3科目)	-	26	0	0	16 13	6 7	7 5	12 11	-		
28 合計(24科目)	-	26	25 21	0	16 13	6 7	7 5	12 11	-		

- (注)・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 21	科目 -	科目 24	科目 3	科目 25	科目 -	科目 28	
				[0]	[4]	[-]	[4]	

- (注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	借用面積661㎡含 (2005.1.1~2024.12.31) 借用面積354㎡含		
	校舎敷地	41,401㎡	0㎡	0㎡	41,401㎡			
	運動場用地	16,620㎡	0㎡	0㎡	16,620㎡			
	小 計	58,021㎡	0㎡	0㎡	58,021㎡			
	そ の 他	21,867㎡	0㎡	0㎡	21,867㎡			
	合 計	79,888㎡	0㎡	0㎡	79,888㎡			
(2) 校舎	専 用	44,652			44,652	音楽系クラブ練習場 建築のため		
	44,220㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	44,220㎡ (0㎡)			
(3) 教室等	講義室	20	22	5室	3室	大学全体		
	26室	21室		(補助職員 0人)	(補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	薬学研究科 薬学専攻 博士課程			28 25 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		冊	種	種	点	点	点	
	薬学研究科 薬学専攻 博士課程	136,974 [59,447]	4,500 [3,929]	3,129 [3,120]	699		0	
		133,977 [59,012]	4,365 [3,911]	3,231 [3,224]	643	15	0	
		(136,974 [59,447])	(4,500 [3,929])	(3,129 [3,120])	(699)			
		(133,977 [59,012])	(4,365 [3,911])	(3,231 [3,224])	(643)	(15)	(0)	
計	136,974 [59,447]	4,500 [3,929]	3,129 [3,120]	699		0		
	133,977 [59,012]	4,365 [3,911]	3,231 [3,224]	643	15	0		
	(136,974 [59,447])	(4,500 [3,929])	(3,129 [3,120])	(699)				
	(133,977 [59,012])	(4,365 [3,911])	(3,231 [3,224])	(643)	(15)	(0)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体	
	1,554㎡		303 302		172,815冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	2,267㎡		アリーナ 410㎡		テニスコート 3面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	1,003 657千円	1,003 657千円	図書購入費	15,014千円	21,188 15,014千円	21,188 15,014千円
	共同研究費等	12,454 0千円	12,454 0千円	設備購入費	23,053千円	39,948 23,053千円	39,948 23,053千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	950千円	700千円	700千円	700千円	-千円	-千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		積極的に外部資金の導入に努める					

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	京 都 薬 科 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
薬学部薬学科	6	360	—	2,160	学士(薬学)	1.04	平成18年	京都府京都市 山科区御陵 中内町5	
薬学研究科薬科学専攻 博士前期課程	2	5	—	10	修士(薬科学)	0.90	平成22年		
薬学研究科薬科学専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士(薬科学)	1.00	平成24年		開設初年度
薬学研究科薬学専攻 博士課程	4	10	—	40	博士(薬学)	0.25	平成24年		開設初年度
薬学研究科薬学専攻 博士後期課程	3	—	—	—	博士(薬学)	—	昭和52年		平成24年度 から募集停止

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<薬学研究科 薬学専攻（博士課程）>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	山下 正行 (55)	平成24年4月	薬品製造学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究					薬品製造学特論※隔年 創薬腫瘍科学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究	
専	教授	北出 達也 (57)	平成24年4月	薬品分析学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
専	教授	安井 裕之 (47)	平成24年4月	代謝分析学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
専	教授	長澤 一樹 (46)	平成24年4月	衛生化学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
専	教授	後藤 直正 (60)	平成24年4月	感染制御学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
専	教授	秋葉 聡 (49)	平成24年4月	病態生化学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
専	教授	竹内 孝治 (64)	平成24年4月	薬物治療学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
専	教授	中田 徹男 (54)	平成24年4月	臨床医科学特論Ⅰ※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
専	教授	吉貴 達寛 (58)	平成24年4月	臨床医科学特論Ⅱ※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
専	教授	山本 昌 (54)	平成24年4月	薬剤学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
専	教授	高田 寛治 (63)	平成24年4月	臨床薬物動態学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
専	教授	西口 工司 (46)	平成24年4月	臨床薬学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
専	教授	矢野 義孝 (49)	平成24年4月	医薬品評価科学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究					医薬品評価科学特論※隔年 腫瘍薬剤学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究	
専	准教授	奥田 潤 (44)	平成24年4月	感染制御学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究			後任未定			辞任(退職) 退職日: 2012.3.31 氏名: 奥田 潤 理由: 退職のため 「感染制御学特論」は他に 担当者が2名いるため支障 はない(24)
専	准教授	山岸 伸行 (43)	平成24年4月	生化学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
専	准教授	北村 佳久 (51)	平成24年4月	病態生理学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
専	准教授	加藤 伸一 (45)	平成24年4月	薬物治療学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						

専	准教授	小原 幸 (48)	平成24年4月	臨床医科学特論Ⅰ※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
専	准教授	奈邊 健 (46)	平成24年4月	薬理学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
専	准教授	坂根 稔康 (50)	平成24年4月	薬剤学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
専	講師	武上 茂彦 (39)	平成24年4月	薬品分析学特論※隔年 総合薬学セミナー						
専	講師	吉川 豊 (38)	平成24年4月	代謝分析学特論※隔年 総合薬学セミナー						
専	講師	石原 慶一 (38)	平成24年4月	病態生化学特論※隔年 総合薬学セミナー						
専	講師	伊藤 由佳子 (41)	平成24年4月	総合薬学セミナー					臨床薬物動態学特論※隔年 総合薬学セミナー	
専	講師	辻本 雅之 (35)	平成24年4月	臨床薬学特論※隔年 総合薬学セミナー						
専	助教	岩崎 宏樹 (32)	平成24年4月	薬品製造学特論※隔年 総合薬学セミナー						
専	助教	西田 健太郎 (33)	平成24年4月	衛生化学特論※隔年 総合薬学セミナー						
専	助教	松尾 剛明 (30)	平成24年4月	衛生化学特論※隔年 総合薬学セミナー						
専	助教	皆川 周 (35)	平成24年4月	感染制御学特論※隔年 総合薬学セミナー						
専	助教	齊藤 洋平 (35)	平成24年4月	生化学特論※隔年 総合薬学セミナー						
専	助教	高田 和幸 (35)	平成24年4月	病態生理学特論※隔年 総合薬学セミナー						
専	助教	石原 紀久子 (41)	平成24年4月	薬物治療学特論※隔年 総合薬学セミナー						
専	助教	鳥羽 裕恵 (34)	平成24年4月	総合薬学セミナー						
専	助教	藤井 正徳 (35)	平成24年4月	薬理学特論※隔年 総合薬学セミナー						
専	助教	飯居 宏美 (31)	平成24年4月	総合薬学セミナー						
専	助教	勝見 英正 (32)	平成24年4月	総合薬学セミナー						
兼任	教授	上西 潤一 (60)	平成24年4月	薬化学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究					薬化学特論※隔年 創薬腫瘍科学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究	
兼任	教授	赤路 健一 (57)	平成24年4月	薬品化学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究					薬品化学特論※隔年 創薬腫瘍科学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究	

兼任	教授	吉川 雅之 (64)	平成24年4月	生薬学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
兼任	教授	小暮 健太郎 (45)	平成24年4月	生物物理化学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
兼任	教授	渡辺 徹志 (53)	平成24年4月	公衆衛生学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
兼任	准教授	橋本 貴美子 (50)	平成24年4月	薬化学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究						
兼任	准教授	松田 久司 (56)	平成24年4月	生薬学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究					生薬学特論※隔年 創薬腫瘍科学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究	
兼任	講師	土谷 博之 (35)	平成24年4月	生物物理化学特論※隔年 総合薬学セミナー						
兼任	助教	河井 伸之 (39)	平成24年4月	総合薬学セミナー					薬化学特論 総合薬学セミナー	
兼任	助教	相馬 洋平 (33)	平成24年4月	薬品化学特論※隔年 総合薬学セミナー	兼任	助教	服部 恭尚 (33)	平成23年10月	薬品化学特論※隔年 総合薬学セミナー	辞任(退職) 退職日: 2012. 3. 31 氏名: 相馬 洋平 理由: 退職のため(24)
兼任	助教	中村 誠宏 (36)	平成24年4月	生薬学特論※隔年 総合薬学セミナー						
兼任	助教	濱 進 (35)	平成24年4月	生物物理化学特論※隔年 総合薬学セミナー						
兼任	助教	長谷井 友尋 (32)	平成24年4月	公衆衛生学特論※隔年 総合薬学セミナー						
					専	講師	小島 直人 (36)	平成24年4月	薬品製造学特論※隔年 総合薬学セミナー	新規採用のため(24)
					専	教授	藤室 雅弘 (44)	平成23年7月	細胞生物学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究	新規採用のため(24)
					専	助教	賀川 裕貴 (28)	平成24年4月	細胞生物学特論※隔年 総合薬学セミナー	新規採用のため(24)
					専	教授	芦原 英司 (50)	平成24年4月	病態生理学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究	新規採用のため(24)
					専	教授	大矢 進 (43)	平成24年4月	薬理学特論※隔年 総合薬学セミナー 薬学研究演習 課題研究	新規採用のため(24)
					専	講師	本橋 秀之 (40)	平成23年7月	臨床評価科学特論※隔年 腫瘍薬剤学特論※隔年 総合薬学セミナー	新規採用のため(24)
					兼任	教授	乾 賢一 (65)	平成24年4月	腫瘍薬剤学特論※隔年	学長講義担当のため(24)

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○研究科 ○専攻(○課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・年齢は、「**認可時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成24年5月1日現在の満年齢**を記入してください。

・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
36	0	36	—	41	0	41	—	
(41)	(0)	(41)	(—)	[5]	[0]	[5]	[—]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、
「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の
計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	奥田 潤	退職のため

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した専任教員の後任は未定であるが、他2名の専任教員による演習・課題研究および特論講義の指導・開講の体制は整っており、大きな影響はないと考えている。異動により生じた科目担当者の変更については、「大学院シラバス」により、学生に周知済みである。

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (平成24年5月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<薬学研究科 薬学専攻（博士課程）>

（1）設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 修了要件単位数 32単位 必修科目26単位、選択科目6単位</p>	<p>① 平成24年度大学改革推進等補助金「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」に採択されたため、同専攻に「がん薬物療法を専門とする薬学研究者養成コース」を設置した。定員10名のうち毎年2名程度を同コースに入学させる。同コースの教育効果を高めるため、必修科目を追加開講し、その修了要件単位数を、「32単位 必修科目32単位、選択科目0単位」とした。平成24年度は、3名の学生が同コースに入学した。なお、本補助事業は平成24年～平成28年度までの5年間継続される。</p> <p>なお、同コース以外の学生については、認可時の計画どおりの修了要件単位数とする。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 京都薬科大学FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 毎年委員会を開催している。学長を委員長とし、教員7名が委員に委嘱され、委員会に参加している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 本学のFD実施に関する事項を審議する。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・ 各種FD研修会への教員派遣 等</p> <p>b 実施方法 ・ 主に学外のFD研修会を活用している。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ FD研修会への教員派遣（年間10件程度）については、主にコアとなる教員を派遣している。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ 研修会での成果を各教員が担当科目に活用することが主な取り組みである。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 ・ 授業評価アンケートは、学部科目について「前期」および「後期」に実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 ・ 教員には、アンケート結果を帳票にまとめ配付することにより通知している。各教員は、アンケート結果に対して「リフレクションペーパー」を作成する。リフレクションペーパーは、図書館においてのみ閲覧可とし、一定期間学生に公開している。</p>
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 本学は平成20年度大学基準協会認証評価で、大学基準協会の大学基準に適合していると認定された。
 総括評価では、理念・目標に沿って教育活動は適切に行われており、研究活動も活発であると評価されている。
 研究科においては、21世紀COEプログラム採択を始めとした本学の研究活動が非常に高く評価されている一方、FDへの取組、進級時の履修指導および研究指導の組織的な取組について更なる改善を期待するコメントがなされた。加えて、研究科の人材養成に関する目的が学則に明示されていないので改善を期待するコメントが付されている。
- ② 自己点検・評価報告書
 a 公表(予定)時期
 ・平成24年8月 公表予定
 b 公表方法
 ・新制度の「大学院4年制博士課程」における研究・教育などの状況に関する自己点検・評価の提言を踏まえ、大学ホームページ上に公開する予定である。
- ③ 認証評価を受ける計画
 ・平成27年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受けるため、学内で検討中である。
 ・平成26年度に評価機関(薬学教育評価機構)の評価を受けるため、同機関に申請中である(抽選有)。

- (注) ・ 届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (2012年 6月 1日)